

新駅及び新駅周辺における景観形成について

1. 北陸新幹線（仮称）上越駅の整備に関する要望書

1) （仮称）上越駅の位置づけ

（仮称）上越駅

<長野・大都市とのゲートウェイ>

- 新潟県の中核駅
- 観光拠点
- 周辺地域へのサービス拠点
- 信越本線への乗換駅

2) テーマ

3) コンセプト

<p>◆地域の特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ■歴史と文化の息づくまち 上杉謙信公… ■豊かな自然環境を抱くまち 妙高連山… ■豪雪地 雪との共生 スキー発祥の地、雁木… ■日本海 日本海を中心に位置するまち 東京に一番近い日本海 夕日、人魚… ■市の木 サクラ、高田公園の夜桜（日本最大夜桜） ■米どころ 頸城平野、稲穂… ■観光拠点 妙高スキー場、歴史探訪、夜桜… ■全国すみよさランキング上位のまち上越 ■広域的な駅勢圏 佐渡から妙高地区までを視野に入れて ■各地区で拡大しつつあるまちの拠点 <ul style="list-style-type: none"> ○直江津地区 ○高田地区 ○春日山地区（市役所周辺） ○脇野田地区（新駅周辺） <p>新しい時代のまちの拠点として、 ひとのための駅空間づくり ～地域の総合力を高める駅をめざして～</p>	<p>「上越のシンボルとなりうる駅」 「雪国の自然と歴史・文化を感じる駅」 「日本海に開かれたまちの玄関口」 （首都圏から日本海側に最初に出る駅） 「妙高山と日本海をまちのシンボルとして」 「対話のある駅空間」</p> <p>Keyword “歴史の風格と未来” イメージカラー：青（紺碧）純白 桜色 緑 黄金（稲穂）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■都市機能と融合した駅施設 ■新しい、駅と広場 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ■交通広場から駅機能をもった広場へ ■広場の中の駅 ■ひとにやさしい分かりやすい駅 <p style="text-align: center;">新時代の駅 “駅機能としての広場”の提案</p>
--	---

4) デザインテーマ

- ・妙高連山の懷に抱かれた、歴史と文化の息づく“城下町駅”
- ・雪国上越の風景にとけこんだ“歴史駅”
- ・日本海と対岸交流への拠点駅
（日本海を中心に位置し、対岸を見据えた、外に向かう上越をイメージした駅）

○都市的・近未来的な整備イメージ



七戸駅の整備イメージ（出典：青森県 HP）

八甲田を望む大地の息吹と歴史をデザインイメージとし、ボックスの組合せによる空間構成により八甲田連峰の雄大さを、外壁の曲線により山並みを表現
特徴的な仕上げ材として、青森ヒバ、十和田石などを使用



つくばエクスプレス万博記念公園駅

駅舎外壁のストライプを基本に、舗装デザインやシェルターなど配置。シェルターはアルミ材とガラスを組み合わせた直線的でシンプルな形状



守谷駅北口自由通路

トラス構造を採用することで、自由通路下に大空間を確保し、円滑な駅利用を確保しつつ、開放的な空間を形成

○歴史的・自然的な整備イメージ



新青森駅の整備イメージ（出典：青森県 HP）

縄文の歴史と未来の融合をデザインイメージとし、左右の外壁において歴史性や郷愁を感じさせる縄文文化の集落の佇まいを表現（中央部は未来を象徴するガラスの空間をはめ込み、玄関口としての青森の未来へのエントランスを表現）



つくばエクスプレス みどりの駅

ガラスを主とした開放的な駅舎デザインと、周辺の自然環境との調和や利用者が楽しめる空間づくりに向け、葉の形をした曲線的なシェルターを配置



岩見沢駅及び駅前広場イメージ図（出典：JR 北海道 HP）

鉄道の歴史や地域文化を象徴するレンガを使用。レンガは岩見沢レンガプロジェクト（有償）に参加した人たちの名前などが刻印されている。